

トマト新品種「湘南ポモロンショコラ」等について

1 品種育成のねらい

当所では、かながわらしい地産地消を推進するため、本県オリジナルの品種育成に取り組んでいる。トマト品種については、これまで生食・加熱調理兼用という特徴を有し、果実が赤色の「湘南ポモロン・レッド」及び黄色の「湘南ポモロン・ゴールド」を育成した。さらに生食での食味等を改良した新たな品種として「湘南ポモロンレッド35R（さんごあー）」（令和元年11月27日品種登録出願）及び「湘南ポモロンゴールドG4（じーふぉー）」（令和元年11月27日品種登録出願）を育成した。

これらの品種のカラーバリエーションとして、トマトでは珍しい茶色の果実色で、生食で味が良く、「湘南ポモロン」シリーズの特徴である長円筒形の果形の中玉トマトの育成を目指した。

2 育成の経緯

(1) 湘南ポモロンショコラ

- ・ 平成20年度にVancouver Black系統と「湘南ポモロンレッド35R」の育成過程で固定化した「Fight7/8」を交雑した。
- ・ 個体選抜及び固定化を行い、平成29年度に有望系統「VB-long」を得た。
- ・ 平成30年度から令和2年度にかけて、有望系統の特性調査を行った。
- ・ 令和3年度に現地栽培試験（藤沢市、寒川町）を実施し、生産者から良好な評価を得た。
- ・ 令和3年12月22日に種苗法に基づく品種登録出願し、令和4年3月30日に農林水産省が出願公表（出願番号第35906号）した。

(2) 湘南ポモロンレッド35R

- ・ 平成8年に「Tomina」と「愛知ファースト」を交配したF₃系統に「瑞栄」を交配、固定化して、平成27年に有望系統「23BZ」を得た。一方、平成7年に育成中玉系統に米国導入系統（ローマ型）を交配し、平成9年に「ハウス桃太郎」を交配、固定化させた系統「23HMC」に、「桃太郎ファイト」を3回戻し交雑を行い、固定化させて、平成27年度に有望系統「Fight7/8」を得た。「湘南ポモロンレッド35R」は、「23BZ」を種子親、「Fight7/8」を花粉親とする交雑（F₁）品種である。
- ・ 平成28年度に半促成栽培、平成29年度に雨よけ栽培及び促成栽培により特性調査を行った。
- ・ 令和元年度に現地栽培試験（寒川町）を実施し、生産者から良好な評価を得た。
- ・ 令和元年11月27日に種苗法に基づく品種登録出願し、令和2年4月13日に農林水産省が出願公表（出願番号第34354号）した。

(3) 湘南ポモロンゴールドG4

- ・ 平成16年に「23HMC」（当所中間母本）と「KT202」を交配して得たF₄系統に、平成18年に「Fight3/4」（当所育成中間母本）を交配し、選抜、固定化させて、平成28年に有望系統「Yuc3/4A」を得た。これを固定品種「湘南ポモロンゴールドG4」とした。

- ・ 平成 28 年度に半促成栽培、平成 29 年度に雨よけ栽培及び促成栽培により特性調査を行った。
- ・ 令和元年度に現地栽培試験（寒川町）を実施し、生産者から良好な評価を得た。
- ・ 令和元年 11 月 27 日に種苗法に基づく品種登録出願し、令和 2 年 4 月 13 日に農林水産省が出願公表（出願番号第 34355 号）した。

3 品種名

(1) 湘南ポモロンショコラ

- ・ 品種名は、果実色が茶色であることから、茶色で美味しいイメージを想起させるチョコレートのフランス語ショコラ（chocolat）が語感的にも馴染みやすいことから命名した。

(2) 湘南ポモロンレッド35R

- ・ 品種名は、「湘南ポモロン・レッド」の育成過程での名前（系統名）「SPL 25R」の改良品種ということから命名した。

(3) 湘南ポモロンゴールドG4

- ・ 品種名は、「湘南ポモロン・ゴールド」の育成過程での名前（系統名）「SPL G3」の改良品種ということから命名した。

※「湘南ポモロン」は、育成地の「湘南」に、イタリア語でトマトを意味する「ポモドーロ」と果実の形から「ロング」を組み合わせたもの。「湘南ポモロン・レッド」と「湘南ポモロン・ゴールド」は、平成 25 年に黒岩知事が命名。



左から「湘南ポモロンショコラ」、「湘南ポモロンゴールドG4」、
「湘南ポモロンレッド35R」